



平成26年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ティー・ワイ・オー

コード番号 4358

URL <http://group.tyo.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営戦略本部長 (氏名) 上窪 弘晃

(TEL) 03-5434-1586

四半期報告書提出予定日 平成25年12月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第1四半期の連結業績(平成25年8月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第1四半期	5,800	13.5	280	5.0	243	5.6	127	△32.6
25年7月期第1四半期	5,111	△4.8	267	14.7	230	—	189	—

(注) 包括利益 26年7月期第1四半期 187百万円(△3.9%) 25年7月期第1四半期 195百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年7月期第1四半期	2	14	2	03
25年7月期第1四半期	3	17	3	06

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第1四半期	12,296	—	4,364	—	34.1	—
25年7月期	13,057	—	4,352	—	32.0	—

(参考) 自己資本 26年7月期第1四半期 4,188百万円 25年7月期 4,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
25年7月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年7月期	—	—	—	—	—
26年7月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年7月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 3円00銭(上場市場変更記念配当)

3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	13,000	5.1	755	△7.6	675	△10.6	360	△23.7	6	0
通期	26,500	6.0	1,700	13.8	1,540	10.8	890	10.1	14	9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年7月期1Q	59,736,930株	25年7月期	59,736,930株
② 期末自己株式数	26年7月期1Q	608株	25年7月期	608株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年7月期1Q	59,736,322株	25年7月期1Q	59,736,322株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末から続く各種経済対策や金融政策の効果を背景に、個人消費の持ち直しや企業収益に改善がみられ、景気は緩やかな回復が続いております。当社が事業を展開している広告業界においても、平成25年4月以降、広告業全体の売上高は前年を上回って推移しており（※1）、広告業全体及び当社に対する需要は堅調に推移しております。

このような環境のもと、当社グループは、「TYOグループ中期経営計画2013（※2）」を新たに策定し、当社グループの事業の要であるTV-CM事業（広告代理店経由モデル）については継続強化を図り、マーケティング・コミュニケーション事業（広告主直接モデル）については躍進させることで2本目の事業の柱とすることを目指し、積極的な事業展開を推進してまいりました。その結果、TV-CM事業及びマーケティング・コミュニケーション事業の双方で好調に案件を獲得し、売上高は前年同四半期比で大幅に増加いたしました。また、東京証券取引所市場第二部への市場変更関連費用及び株式売出しに係る費用として約42百万円を販売費及び一般管理費に計上しておりますが、営業利益についても前年同四半期比で増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高5,800百万円（前年同四半期比13.5%増）、営業利益280百万円（前年同四半期比5.0%増）、経常利益243百万円（前年同四半期比5.6%増）、四半期純利益127百万円（前年同四半期比32.6%減）となりました。四半期純利益については、前第1四半期連結累計期間において△26百万円の法人税等調整額が発生しておりましたが、当第1四半期連結累計期間においては、法人税等調整額が増加したことから、前年同四半期比で減少しております。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額17百万円が含まれております。

また、当社は、平成25年10月25日をもちまして、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）から市場第二部へ市場変更いたしました。今後も当社グループは、株主の皆様方のご期待にお応えするべく、更なる業容の拡大と企業価値の向上、そして株主価値の増大を目指し、当社グループ一丸となって一層精励してまいります。

※1 特定サービス産業動態統計調査（経済産業省）によります。

※2 詳細については、平成25年9月12日に発表した「TYOグループ中期経営計画2013」をご覧ください。

セグメント別の概況は次の通りであります。

①TV-CM事業

当事業は、主として広告代理店向けにTV-CMの企画・制作及びポスト・プロダクション業務を行っております。

当事業では、TV-CM制作業界において大手制作会社に案件が集中する傾向が鮮明になってきており、大手1社であることの優位性等を背景に積極的な営業活動を行った結果、自動車、電気・情報通信、衣料、飲料等の業種を中心として大型案件を受注したこと等により、前年同四半期比で増収となりました。

利益に関しては、事業規模の拡大等に伴う十分な人員確保に努めたことによる人件費や、大型案件の増加により海外制作費が増加いたしました。売上高の伸長が費用の増加を上回ったことにより、営業利益は前年同四半期比で増加いたしました。

以上の結果、当事業は売上高4,257百万円（前年同四半期比18.5%増）、営業利益691百万円（前年同四半期比12.1%増）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額0百万円が含まれております。

②マーケティング・コミュニケーション事業

当事業は、主として広告主向けにWEB広告及びプロモーションメディア広告の企画・制作等、クロスメディア広告業務を行っております。

当事業では、企画・提案能力の向上及び営業・制作体制の拡充を図り、受注が堅調に推移した結果、売上高は前年同四半期実績を超えて推移いたしました。

利益に関しては、昨今のメディア及びデバイスの急激な多様化に伴い、一部広告主の案件において、新たなプロモーション手法となるスマートフォン向けアプリ開発の試み等により、制作費が増加しております。そのため、売上高は前年同四半期比で増収となったものの、これらの費用を吸収するには至らず、営業損失を計上いたしました。

以上の結果、当事業は売上高1,194百万円（前年同四半期比10.6%増）、営業損失45百万円（前年同四半期は56百万円の営業損失）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額16百万円が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて771百万円減少し、8,309百万円となりました。主な要因は、仕掛品が316百万円、受取手形及び売掛金が307百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が1,372百万円減少したことによるものです。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて10百万円増加し、3,986百万円となりました。主な要因は、繰延税金資産が31百万円減少しましたが、投資有価証券が73百万円増加したことによるものです。

③ 総資産

上記の結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて761百万円減少し、12,296百万円となりました。

④ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて595百万円減少し、4,234百万円となりました。主な要因は、買掛金が370百万円、未払法人税等が138百万円それぞれ減少したことによるものです。

⑤ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて178百万円減少し、3,696百万円となりました。主な要因は、長期借入金が175百万円減少したことによるものです。

⑥ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて12百万円増加し、4,364百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上により127百万円増加しましたが、配当金の支払により179百万円減少したことにより利益剰余金が51百万円減少、その他有価証券評価差額金が57百万円増加したことによるものです。その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は34.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年9月12日に発表いたしました、平成26年7月期第2四半期及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,394,817	2,022,789
受取手形及び売掛金	3,656,606	3,964,131
仕掛品	1,459,983	1,776,808
原材料及び貯蔵品	6,020	5,701
繰延税金資産	182,269	101,918
その他	401,868	444,186
貸倒引当金	△20,064	△5,943
流動資産合計	9,081,500	8,309,593
固定資産		
有形固定資産	2,127,950	2,111,559
無形固定資産		
のれん	300,641	283,262
その他	104,949	100,920
無形固定資産合計	405,591	384,182
投資その他の資産		
投資有価証券	132,480	206,262
繰延税金資産	324,665	292,786
破産更生債権等	754,131	754,101
保険積立金	578,499	591,003
差入保証金	348,296	346,759
出資金	20,362	15,850
その他	40,504	40,012
貸倒引当金	△756,131	△756,101
投資その他の資産合計	1,442,809	1,490,674
固定資産合計	3,976,351	3,986,416
資産合計	13,057,852	12,296,009
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,931,220	2,561,050
1年内返済予定の長期借入金	700,000	700,000
リース債務	131,498	121,128
未払法人税等	171,888	33,233
賞与引当金	100,201	4,887
前受金	169,148	164,538
未払金	547,450	518,990
その他	78,286	130,446
流動負債合計	4,829,694	4,234,276

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
固定負債		
長期借入金	3,250,000	3,075,000
リース債務	245,138	234,216
退職給付引当金	15,286	15,870
役員退職慰労引当金	280,946	287,271
資産除去債務	84,512	84,610
その他	9	19
固定負債合計	3,875,894	3,696,988
負債合計	8,705,588	7,931,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,751,057	1,751,057
資本剰余金	747,189	747,189
利益剰余金	1,688,595	1,637,358
自己株式	△109	△109
株主資本合計	4,186,732	4,135,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,514	53,021
その他の包括利益累計額合計	△4,514	53,021
新株予約権	92,089	100,615
少数株主持分	77,956	75,612
純資産合計	4,352,264	4,364,745
負債純資産合計	13,057,852	12,296,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成24年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)
売上高	5,111,040	5,800,153
売上原価	4,133,645	4,787,497
売上総利益	977,395	1,012,656
販売費及び一般管理費	710,076	731,966
営業利益	267,319	280,690
営業外収益		
受取利息	115	152
組合出資分配金	3,540	2,139
保険返戻金	297	2,321
その他	7,594	4,435
営業外収益合計	11,547	9,049
営業外費用		
支払利息	20,754	17,885
売上債権売却損	11,276	12,687
支払手数料	4,999	4,999
組合出資減価償却費	—	1,315
シンジケートローン手数料	7,727	7,764
その他	3,649	1,709
営業外費用合計	48,407	46,361
経常利益	230,458	243,378
特別利益		
固定資産売却益	4	236
関係会社株式売却益	18,035	—
投資有価証券売却益	—	697
特別利益合計	18,039	933
特別損失		
固定資産除却損	5,697	2,512
関係会社株式売却損	29,531	—
その他	92	—
特別損失合計	35,321	2,512
税金等調整前四半期純利益	213,176	241,799
法人税、住民税及び事業税	46,479	31,071
法人税等調整額	△26,968	80,370
法人税等合計	19,511	111,442
少数株主損益調整前四半期純利益	193,665	130,356
少数株主利益	3,784	2,384
四半期純利益	189,880	127,971

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成24年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	193,665	130,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,016	57,535
為替換算調整勘定	2,781	—
その他の包括利益合計	1,764	57,535
四半期包括利益	195,429	187,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,643	185,507
少数株主に係る四半期包括利益	3,786	2,384

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年8月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	TV-CM 事業 (千円)	マーケティング・コミュニケーション 事業 (千円)	合計 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	3,591,376	1,079,704	4,671,080	439,960	—	5,111,040
セグメント間の内部売上高 又は振替高	134,504	5,558	140,062	10,344	△150,406	—
計	3,725,880	1,085,262	4,811,142	450,304	△150,406	5,111,040
セグメント利益又は損失(△)	616,612	△56,269	560,342	78,830	△371,854	267,319

(注) 1 その他は、アニメーション及びミュージックビデオの企画・制作等を行っております。

2 セグメント損益の調整額△371,854千円には、セグメント間取引消去25,322千円及び全社費用△397,176千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年8月1日至平成25年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	TV-CM 事業 (千円)	マーケティング・コミュニケーション 事業 (千円)	合計 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	4,257,279	1,194,209	5,451,488	348,665	—	5,800,153
セグメント間の内部売上高 又は振替高	324,802	14,854	339,657	962	△340,619	—
計	4,582,082	1,209,063	5,791,145	349,627	△340,619	5,800,153
セグメント利益又は損失(△)	691,457	△45,349	646,107	44,303	△409,721	280,690

(注) 1 その他は、アニメーション及びミュージックビデオの企画・制作等を行っております。

2 セグメント損益の調整額△409,721千円には、セグメント間取引消去28,010千円及び全社費用△437,731千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。